

〓 赤い羽根飾れば秋の空が晴れ 〓

道ゆく人の胸に赤い羽根が飾られると、秋来たるの感がいつそう深くなる。僅か10円玉一つのおつき合でも集まつたこの浄財が本当に世の中の不しあわせな人達に公平に分配されることを望む。面倒臭せいで向う側を通つて行くべーなどという気持になると、何んだか妙に自分自身が情けないような感情になる。

〓 運動会どの子も同んなじ  
ように見え 〓

暁をついて秋天に花火の音が景気よくひびき渡ると、子供達は布団をけつて起き上がる。秋の楽しい行事運動会の同じ帽子に、運動ズボン、シャツ、靴みんな真白だ、わが子をさがそうとしてもみんな同じように見えてしまつて仲々見つからないのも運動会なればこそである。

〓 食慾の秋に嬉しい悲鳴あげ 〓

ハイお変わり、秋と共に子供達の食慾が旺盛になる。うつかりしているとご飯が足りなくなつてしまうような育ち盛の子供達のたくましい食慾である。

〓 食べられることも知らずに  
豚肥る 〓

天高く馬肥ゆる秋、いまは馬が建くなつてしまつたからむしろ豚肥えるの秋といった方がよさそうである。自分の悲しい運命も知らずに豚は無心に喰うだけ喰つてむくむくと肥つて飼育者を喜ばせる。40年農業センサスで調べた本県の豚の数は、338,477頭で35年に比べると227,503頭も増加しており、これだけは日本一であり全国の約1割近くにおよんでいる。

〓 鼻唄が鎌砥いでいるいい実り 〓

ここ数年続いている豊作で、百姓はやつぱり米作りが一番だといわれる。もつとも政府買上げという補償制度によつて米の暴落など考えられないから、今年も、また陸稲などに旱害があつたが豊作らしい。朝早くから稲刈の鎌砥ぐ力も、鼻唄が出るほどの実りであろう。本県の米の生産高は39年産10万2千トンで、全国第7番目の米の産地となつている。

〓 天高しといえどもスモツクの街煙る 〓

高度成長、工業開発などによつて特に大東京の街に見えない公害が大きな問題となつてきているようである。1千万人といわれる大東京の街はスモツクで煙つているようだ、天高しといつたところで人間の力の力は、自然界にも異常をもたらしているようで、やお天とうさま煙たかろうというところであろう。

〓 紅葉する山野に貧しい  
くらしあり 〓

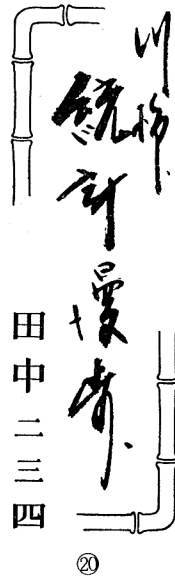
秋ともなれば、都会を逃れ山野に清い空気を求めて大勢の人達がどつとく、山河の自然の美しさに感歎と声をあげ、山の自然はいろとりどりに紅葉し、人達の汚れた目を楽しませてくれる。其処には、祖先代々の乏しい土地を生活が続けている人達は僅かな田舎暮らし細々として貧しいくらしを続けていである。都会の人達にはきれいに紅葉でさえ、きつとこの土地の人達に毎年見馴れている辺りの景には見馴れないことではあるまいか。

〓 表彰という栄光に  
ちよつと照れ 〓

秋にはいろいろな表彰が行なわれる。菊日和その道での功労者がいろいろな形で表彰される。にも全国統計大会、県統計大会（11月11日）などがありその席上統計功労者の表彰が行われる。言われると果して自分が真にこれに該当すると思つていわれると本当に困つてしまつて顔を赤らめようような場面も多いようである。

〓 麦蒔いてしまえば冬という気配 〓

10月の終わりから、11月の始めにかけて麦蒔きが訪れる。総ての作物が収穫され広くきれいに焼けた畑に麦が次々に蒔き下されて、農家で冬の準備となりとなる。この頃になると朝晩の空気が急に冷たいよいよ冬仕度をはじまる。全国一を誇る本県の付面積は39年に894ヘクタールにおよび全国の積の約10%弱にあたる。



# 近 着 統 計 資 料 案 内

書 名	調査年 刊行年	発 行 者	図 書 名	調査年 刊行年	発 行 者
記			工業統計書(従業員3人以 下)	38 年	通 産 省
			〃 (企業編)	〃	〃
調査報告(山形県)	40 年度	総 理 府 統 計 局	新産業都市及び工業設備特 別地域の現況について		経 済 企 画 庁
〃 (福島県)	〃	〃	工場用地, 工業用水道の現 況について		〃
〃 (栃木県)	〃	〃	経済変動観測資料		〃
〃 (千葉県)	〃	〃	林業生産統計年報		農 林 省 統 計 調 査 部
〃 (新潟県)	〃	〃	小売物価統計調査年報		総 理 府 統 計 局
〃 (高知県)	〃	〃	最近の鉄工業生産動向	41.4~	通 産 省
〃 (長崎県)	〃	〃	葉たばこ生産統計集	6 月 期 年	日 本 専 売 公 社
〃 (熊本県)	〃	〃	給与, 恩給の変遷	40 年	内 閣 資 料 調 査 会
〃 (鹿児島県)	〃	〃	農家調査抽出集計結果概要		農 林 省 統 計 調 査 部
三重県の人口	〃	〃	農業総合研究		農 業 総 合 研 究 所
山県の人口	〃	〃	社会・労働		
取県の人口	〃	〃	労働力調査特別調査報告		総 理 府 統 計 局
良県の人口	〃	〃	教育・文化		
賀県の人口	〃	〃	大学院実態調査報告		文 部 省
道府市区町村番号一覧		厚生省人口問題研 究所	学校保健統計調査報告書	40 年度	〃
都道府県別世帯数の将 来推計		〃	文部省統計速報		〃
道府県別標準化死亡率		〃	受信契約数統計要覧	40 年度	日 本 放 送 協 会
勢調査報告(埼玉県)	40 年度	総 理 府 統 計 局	各都道府県		
〃 (石川県)	〃	総 理 府 統 計 局	京都府民所得	39 年	京 都 府
〃 (兵庫県)	〃	〃	県民所得推計報告	〃	岡 山 県
岩手県の人口	〃	〃	宮城県法人企業統計調査結 果報告書	39 年度	宮 城 県
福井県の人口	〃	〃	工業統計調査結果報告		兵 庫 県
山梨県の人口	〃	〃	事業所統計調査結果速報		静 岡 県
香川県の人口	〃	〃	生産動態流通統計調査年報		東 京 都
勢調査報告(和歌山県)	〃	〃	島根県民所得	40 年度	島 根 県
第90回国税庁統計年報書	〃	国 税 庁	島根県統計書		〃
人口問題研究		厚生省人口問題研 究所	茨城県		
第19回簡速静止人口表		〃	消防年報		消 防 々 災 課
指定統計調査報告届出統計 一覧	40 年	行 政 管 理 庁	茨城教育便覧		教 育 庁 総 務 課
茨城県の人口	〃	総 理 府 統 計 局	国保の実態	41 年度	国民健康保険団体 連合会
産業・経済			本県の昼間人口		茨 城 県
維統計年報	40 年	通商産業大臣官房 調査統計部	茨城の県民性(解説編)		統 計 課
農械統計年報		通 産 省	〃 (統計編)		〃
木材需給報告書		農 林 省	長期欠席児童生徒調査報告 書		教 育 庁 総 務 課
鉄道車両等生産動態統計年 報		運 輸 省	金融経済概況		日 銀 水 戸 事 務 所
全品目生産指数(昭和35年 基準)	40 年度	通 産 省			



## 統計と栄養

長田雅光

現代の錯綜たる日常生活において、精神を冷静に維持し、統計計算など神経が異状に疲労する地味な仕事をコツコツ実行することは誠に至難な業となつてくる。

現代流行のノイローゼの如きモウロウたる状態では統計業務には到底耐えられないといえる。少々のごことで支障を来たさない丈夫な頭脳を所有することが統計職員の如き高級頭脳労働者には不可欠となつてくるが、その対策を考える場合において医学的見解などむずかしいことは知らないが、最近、食べ物の栄養の良、不良が、頭の回転、ひらめき、ねばり分析力などに以外にひびくということを痛感している。

体験談になるが、ひと頃、薄給、間借生活などの関係上、食費がかなり切りつめられたことがあつたが、(食膳の内容は詳しく述べないが、一例を示せば、ごはんの上に味噌をのせて、上から熱湯をふりかけるという食事がかなりの期間続いた——もつともこういうのを自分が好きだつたのだが——)その後、娯楽費を切りつめて、意識的に食費をふやし、出来るだけいいものを食べるようにしたのであるが(魚、卵、野菜などを主体とした食事)、ふり返つて考えてみて、粗末なものを食べていた頃と、栄養のいいものを食べていたときでは、頭の充実感といったものが、ソロバンひとつおくにしても非常にちがうということが感受されるのである。(むろん栄養のいい場合の方が頭が冴え、仕事の能率があがるわけである)

頭も体の一部であるから補給される食べ物がよければ丈夫になるのは当然であろうが、血色、体重などとして外観にあらわれないだけに、頭のための栄養ということ

は、つい見失うことになりがちだが、数年緻密な統計業務に携つて、その間、上記の如き経験により、頭の働きも摂取される栄養如何によるということを、改めて認識させられたのである。

もつとも年中栄養充分なものを食べている人には、よく理解出来ないであろうが……。

小生としても、以上の実感はごくかすかなものにとどまるをえない。ある期間粗糲し、その後美食(?)したとしても、その両者を通しての不規則性はまぬがせられず、又、統計業務が地味で坦々としているといつても種々雑多であり、その間の能率の測定といつても正確なものとは期待しえない。大かたはそうであろうという主観的な観念も加味されたものであることを併記する必要がある。

栄養がよければ、頭がよくなり、仕事の能率が上がるのべたが、栄養過剰の場合は頭の状態がどうなるかともいえない。小生にはその経験がない。逆に不足ではないかと推察している。頭の働きのためには、適度の栄養が摂取されるのが、最も理想的である。専門の医学書を繙くより術はないが、いまだその奥に達していない。

以上は過日、たまたま昼食中の統計茨城編集主任ラエティに富んだ弁当の内容を賞讃し、頭も冴えやすねと上記の主旨をとりつまんだようなことをいふと、主任も小生のいわんとするところを意を込めて意を表され、そんなこと書いてみてはとの依頼に、昨今、つらつら思い浮べるまま記述に及んだ次第。

昭和41年版

# 茨城県勢要覧

## 予約募集!! 1年12月1日～42年1月31日

日頃当協会の事業につきましては  
種々ご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。  
さて、このたび昭和41年版茨城県勢要覧の  
予約募集を行ないます。

これは、県統計課の編さんによるものを  
広く皆さまにご利用していただくために  
当協会において毎年特に増刷し、  
実費頒布するものであります。

ご承知のとおり数字（統計）をとおしてより深く郷土を知り、  
生活の向上とともに明日への道しるべの資料として広く活用され、  
発刊以来好評をいただいております。

昭和41年版につきましても、編集、内容ともに充実いたしましたので、  
ご期待にそえるものと信じております。

職場に！学校に！業務に！研究に！  
そして立案計画などに携さわる方々には  
絶好のなくてはならない資料と思います。  
是非一部机上にお備えください。

なお、お申し込みは下記へ

記

- |          |                            |         |
|----------|----------------------------|---------|
| 1 申し込み先  | 水戸市三の丸1-5-38<br>茨城県開発部統計課内 | 茨城県統計協会 |
| 2 頒布価格   | 300円（送料共）                  |         |
| 3 規格     | A5判（上質紙使用）                 |         |
| 4 予約受付締切 | 昭和42年1月31日                 |         |
| 5 配付予定   | 昭和42年2月上旬                  |         |